

議 事 録

件 名	第31回 セーフコミュニティ自殺予防対策委員会	
日 時	令和7年6月2日(月) 15:00~16:10	
場 所	久留米市役所 308会議室	
出席者	委 員	内村委員長、熊本委員、稲益委員、井上委員、棚町委員、石井委員、漆原委員 時安委員、岡村委員、田中委員、乙丸委員、関委員、倉富委員
	事務局	(安全安心推進課) 山下主幹、新村補佐 (保健予防課) 田原主幹、伊藤補佐、上野主査、池田
欠 席 者	大治副委員長、下川委員	
傍 聴 者	無し	
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 2024(令和6)年度取組実績及び2025(令和7)年度取組方針(案)について</p> <p>(2) セーフコミュニティの次期国際認証について</p> <p>(3) みんなでセーフコミュニティ賞について</p> <p>(4) インスタグラムを活用した情報発信について</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 令和7年度セーフコミュニティ会議等スケジュール(案)</p> <p>(2) SC 標語募集について</p> <p>4. 閉会</p>	
質 疑	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より開会 ・傍聴者の確認「なし」 <p>2. 協議事項</p> <p><u>(1) 2024(令和6)年度取組実績及び2025(令和7)年度取組方針(案)について</u></p>	
委 員	①	3 ページの自殺者数について、年代別に詳しく説明してもらえるか。前に新聞で小中高生の自殺者が増えていると見た。
事 務 局		令和6年の自殺者数では、10代が2人、20代が7人、30代が6人、40代が10人、50代が11人、60代が7人、70代が6人、80代以上が5人となっている。男女ともに40~50代が全体の約4割を占めている。資料には人口動態統計を載せているが、毎年秋頃の公表であるため、今申し上げたのは警察庁統計の数字である。
委 員 長		全国的には小中高生が増えているが、久留米市は過去数年間においてもそこまで多くはないか。
事 務 局		はい。

委員 長	ただ、自殺未遂は小中高生が多い。今少子化で子どもが少ない中で、自殺者が多いというのは、少子化にさらに拍車をかけることになる。自殺未遂などで、救急搬送されたりするケースがあると思うが、消防ではどうか。
委員 ②	明らかに増えたということはないが、一定数はある。救急講習会で小中学校に出向くことがある。
委員 長	こども子育てサポートセンターではどうか。
委員 ③	こども子育てサポートセンターでは相談支援という形で受け付けている。資料の10ページの表の下2つ、「小中高生に関する相談」と「結らいん」で対応している。結らいんでは子どもからの相談を電話とメールで受け付けている。数の推移は書いている通りで、特に結らいんについては2022年から2023年にかけては22件から60件に増えており、2024年も50件。複雑な悩みがあると思うが、できるだけその気持ちに寄り添って、社会福祉士や教育職など多職種で対応している。
委員 長	結らいんはLINEを活用したものなのか。
委員 ③	LINEではなく、フリーダイヤルの電話とメールでの対応となっている。子どもへの周知のためにカードを配ったりしている。
委員 長	小中高生に関する相談が221件とかなり多いがどういう内容か。
委員 ③	こども子育てサポートセンターに寄せられる相談のうち、保護者等からの、対象が小中高生に関する相談も挙げている。自殺に関する相談だけではなく、いろんな内容がある。
委員 長	資料にLINEやInstagram等のSNSを活用した相談窓口の啓発とあるが、具体的にどのようなものか。
事務局	夏休み前に、保護者向けにLINEを発信し、ホームページを通じて周知をしたりしている。
委員 長	学校などでも啓発活動をしているのか。
事務局	資料の10ページにあるように、SOSの出し方教育を全市立中学校・市立高校で生徒向け・教職員向けに行っている。若者向けに、大学等でも研修会を行っている。
委員 長	先ほども報告があったように、久留米市の自殺は40～50代の働き盛りの世代、女性よりも男性が多い。労政課では、職域でのストレス対策や相談等はどうか。

委員	④	まず原因となる部分の長時間労働や職場環境、ワークライフバランスについて、市の事業で取り組んでいる。もう一つ、自殺予防ということでは、保健予防課と連携して、商工労働ニュースでの啓発を行っている。
委員	長	これまではストレスチェックが従業員 50 人以上の企業で義務化されており、中小企業ではなかなか難しかったが、今後 50 人未満のところでも義務化されるか。
委員	④	3 年後までの間に義務化するような話は出ている。
委員	長	働き方改革は中小企業の間でも広がってきているのか。
委員	④	ワークライフバランス推進の助成をしたりしているが、どれだけの企業に交付したかという、なかなかその数は増えていない。やられているところは率先してやられているが、やられていないところはまだまだという印象。 保健予防課では、ゲートキーパーの養成をかなりしていると思うが、どのような分野にどのくらい、特に職域毎にどのくらいいるのか分かればお答えいただきたい。
事務局		大体毎年 3,000~4,000 人養成している。令和 6 年度の実績では、一般市民が 810 人、市職員が 67 人、児童生徒が 2,200 人、教職員が 430 人となっており、一般市民の中の職域の方が 280 人となっている。
委員	長	研修会に来られた方が、ゲートキーパーとして機能を果たしているかというのは分かるか。例えば登録などはしているか。
事務局		登録はしておらず、研修会に来た方をゲートキーパーと認識している。
委員	長	研修会も 1 回きりの参加だと、立場的に行かないといけなかったという人もいるかもしれない。例えば、毎年更新していくとか、何回か研修を受けてもらうことなどは難しいか。
事務局		1 人の人はいろんな側面を持っており、校区を通して市民になる場面もあれば、職域を通して職業人になる場面もあるため、回数を重ねるうちに、どこかの場面で受けてくださる市民も増えていくと考えている。
委員	長	ゲートキーパーはいろんな分野にいらっしゃる。それぞれの職域や地域で核となるゲートキーパーの方が出てくると、本当の意味でゲートキーパーが機能してくる。なかなか難しいかもしれないが、セーフコミュニティとしても、より国際的な評価も高まっていくし、本当の意味での継続かと思う。

事務局	<p>そういった評価でできていると思うのが、私どもが生命保険会社・損害保険会社と連携協定を結んでおり、従業員の方にゲートキーパー研修をさせていただいている。その後、一年間どのような活動をしたか、例えば自社のチラシにゲートキーパーのことを載せていただいたり、訪問先で声かけをしていただいたり、そういったアンケートをとらせてもらっている。</p>
委員長	<p>どういう職種の方を対象にしたか、実績は分かるか。</p>
事務局	<p>直近では、薬剤師会に過量服薬のことも含めて研修会をさせてもらった。これまで理美容協会やタクシー協会など、市民とよく関わる職種の方に実施した。</p>
委員長	<p>そのような実績を一覧にして、皆さんと共有できるといいかもしれない。</p>
委員 ⑤	<p>以前、民生委員児童委員の全員研修会で内村委員長に自殺についてご講演いただいた。協議会にゲートキーパーの研修会をするように打診している。ゲートキーパーという言葉自体はあまり浸透していないように感じる。どちらかというとは今はヤングケアラーが目立っている。</p>
委員長	<p>西日本新聞では、毎年3月にゲートキーパーについて記事を出してくれている。ヤングケアラーについても、子どもの自殺につながる可能性がある。民生委員児童委員の方々は各地にいらっしゃるのでも、ぜひ皆さんがゲートキーパーになっていただくと随分変わってくるものと思われる。</p> <p><u>(2) セーフコミュニティの次期国際認証について</u></p>
委員長	<p>セーフコミュニティの認知度は認証前の方が高いのか。</p>
安全安心推進課	<p>新聞報道等が先行したためと思われる。後の資料でも説明するが、認知度を上げるために様々な取り組みはしている。</p>
委員長	<p>全国でセーフコミュニティの認証を取得した自治体はどのくらいか。久留米市は何番目に取得したか。</p>
安全安心推進課	<p>全国で17自治体。認証を継続しなかった自治体が6自治体あるため、現在は11自治体。そのうちいくつかの自治体は、次回の認証は受けないと言っている。久留米市は9番目に取得している。中核市・九州としては最初。</p>
委員長	<p>認証を継続しなかった自治体は、何か理由があるのか。</p>

安全安心推進課	ヒアリングした結果ではあるが、セーフコミュニティの効果が分かりづらい、費用面の問題、負担感等があるとのことだった。
委員長	資料にもあるように、8つの対策委員会ではそれぞれ目に見える成果が出ているとは言える。委員の皆さんはアンケートに協力をお願いしたい。
	<u>(3) みんなでセーフコミュニティ賞について</u>
委員長	毎年8つの対策委員会から24名程度の人を表彰するのか。
安全安心推進課	次回の認証までの3年間は継続して行いたい。
	<u>(4) インスタグラムを活用した情報発信について</u>
	特になし
	<u>3. その他</u>
委員 ⑤	今年度は、合同対策委員会はあるか。
安全安心推進課	今のところ予定はない。
委員 ⑥	セーフコミュニティに係る年間の予算はどのくらいか。
安全安心推進課	課の予算としては、年間300万円程。認証を受ける年は式典等もあるため1,000万円程。各部署で取り上げている事業に係る費用はそれ以上かかっている。
委員 ⑥	かなりの成果をあげないといけない。
委員長	セーフコミュニティで取り上げているのは、市にとって大事なことばかりで、これを実行していくためにはそれなりの費用がかかってくる。ただ、セーフコミュニティの認証をとるか、とらないかの話になってくる。
安全安心推進課	セーフコミュニティ標語の募集が6月から始まっているので、周りの方へのお声がけなどぜひご協力を。12月に「みんなでセーフコミュニティ賞」と同じく表彰式を行う予定。
委員長	応募数は増えているか。

安全安心推進課	令和5年に3,400件を超えている。昨年は少し減ったが3,200件。主に小学生が多い。
委員長	小中学生も対象に認知度調査をすると、認知度が上がるかもしれない。 <u>4. 閉会</u>